

議 長	次に、質問順位2番 7番議員 中村充子議員。
議 長	中村議員。
中 村 議 員	失礼いたします。 通告に従いまして一般質問をいたします。 さくら遊園地と職員住宅についてお尋ねします。 さくら遊園地のところから蜂ヶ峯に向かって県道が出来る事になっています。最近、工事が始まりました。 桜遊園地はハロー60というボランティア団体が桜の木、藤棚の手入れ、また草引き、花の苗を植えるなどの活動を20年以上続けておられ、今は皆さん80歳を超えています。 この公園がどうなるのか、お知らせしなければなりません。 若い人は仕事が忙しく、ボランティア活動は難しいと思います。定年延長になるところが多く、高齢者がいつまでもボランティア活動を担うことになります。 具体的な質問です。さくら遊園地の草引きなど和木町が手入れをすることはできないでしょうか。
議 長	松井教育委員会事務局長。
松 井 教育委員会 事 務 局 長	はい、お答えいたします。 町内の多くの公園が、地域ボランティアの方々のご協力により、清潔に保たれておりますことに深く感謝を申し上げます。 町では、総合計画の柱の一つといたしまして「協働のまちづくり」これを掲げております。この「協働」とは、町民相互、あるいは、町民と町が、互いに尊重、協力し合い、様々な課題の解決を行うことで、快適なまちづくりを行うものでございます。 さて、ご質問のさくら遊園地の花壇整備や草引きについて、「和木町で手入れできないか」とのご質問でございますが、

このさくら遊園地を含め、町内には多くの公園がございます。これらを全て町が整備・管理し続けることは、予算の面でも人員の面でも難しい状況というふうに考えております。

したがって、これまでどおり、地域の方々や各種ボランティア団体の方々からのお力を頂きながら、今後後継となる方々、そういった方を探しつつ、活動のバックアップをさせていただきたいというふうに考えております。

議長 中村議員。

中村議員 はい、承知いたしました。無理のないようによろしく願いいたします。

さくら遊園地の桜が一番好きだと和木町を離れた人は言います。桜の木を切ることになるのかとも思いますが、切ったりほったらかしではなく、手入れをきちんとしていただくようお願いいたします。

次の質問です。

和木町の職員住宅は老朽化しています。空き地には草が生えて危険だと思います。更地にするのか売却するのかお考えでしょうか。

議長 松井局長。

松井教育委員会事務局長 教員住宅敷地内の雑草でございますが、例年、草刈りを業者委託や職員により実施をしております。予算や人員の都合上、十分でない場合もございますが、伸びすぎないように注意をしております。

教職員住宅の解体や売却を含めた将来的な活用方法でございますが、その方向性につきましては、現時点では決まっておりません。

ですが、最近の状況を申し上げますと、教職員住宅の敷地の予定でございます。県道工事に関連する車両の駐車スペースとして、本年3月から来年の1月まで、貸し出しをすることとな

っております。

議長 中村議員。

中村議員 はい、わかりました。ありがとうございます。

次に、障害者のグループホームについてお尋ねします。

以前、幼稚園に勤務していた頃の保護者に出会いました。幼かった男の子は背の高い青年になっていました。障害があるためにお母さんと治療に来ていました。

義務教育の頃は、教諭が相談にのってくれて安心でしたが中学校を卒業すると全て親の責任となります。大人になると親が元気なうちは良いのですが年を重ね一人親になったら不安で仕方がないようでした。

障害を抱える子どもの保護者の本当の困りごとは自分が年を取った時、子どもの面倒は誰が看てくれるのだろうかということです。

こんな不安をどこに相談すれば良いでしょうか。

議長 鳥枝保健福祉課長。

鳥枝保健福祉課長 はい、お答えいたします。

障害のある方の相談窓口は保健福祉課となりますので、まずは保健福祉課にご相談ください。また、町ホームページでも周知していますが、相談支援体制として、岩国市内の3事業所、岩国市障害者サービスセンター、障害者地域支援センターしらかば、地域生活支援センタートライアングルに相談業務を委託しています。そこでは、専門的な知識を持った相談支援専門員が、障害のある方や家族からの普段お困りのこと、家族等で悩んでいること、将来に対する不安など、様々な相談に応じ、悩みや不安の解消のお手伝いをしていますので、遠慮なくご相談ください。

なお、この相談支援体制に加え、令和7年度からは、町内唯一の指定事業所であるテラスさんとも相談業務を委託する

予定としております。町内の方の身近な相談先として、更なる利便性の向上を図っていきたいと考えております。

議長 中村議員。

中村議員 はい、ありがとうございました。まずは役場の保健課に相談をして、岩国市には3事業所の相談窓口がありますよということで、トライアングルもまた、トライアングルではない、テラスさんとまた契約をすることになっているので、そういうところに相談されたらよいということでもよろしかったですかね、はい、ありがとうございます。

次の質問です。

和木町には障害者のグループホームがありません。このような施設はできないでしょうか。

議長 鳥枝課長。

鳥枝保健福祉課長 はい、障害者グループホームの経営主体は、社会福祉法人やNPO 法人事業所、医療法人などが一般的ですが、昨年度策定した和木町障害者計画においても、町内にグループホーム等を設置する計画はございません。また、本町においては、グループホームに限らず、障害福祉サービス事業所が少なく、近隣市町の事業所への利用が大多数を占めているところです。

今後も、近隣市町や関係機関と連携し、障害福祉サービスが継続的に利用できるよう、提供体制の確保を図るとともに、引き続き、利用しやすい環境を整えていく必要があると考えています。

議長 中村議員。

中村議員 はい、わかりました。

和木町ではグループホームはつくる予定はない、近隣市町を利用するようにするという事で理解しました。ありがとう

ございます。

3問目ですが、身よりのない人が入所できる和木町が負担金を出している老人福祉施設があります。親が亡くなったらそのような施設に入所できるのでしょうか。伺います。

議 長

鳥枝課長。

鳥 枝 保 健
福 祉 課 長

はい、岩国市玖珂町の久楽荘、本郷町の松風荘は、どちらも岩国市と共同で行っている一部事務組合で、養護老人ホームです。この養護老人ホームへの入所は、基本的に65歳以上の方で、在宅において一人で生活することが困難であることや、経済的に困窮しているなど、環境上や経済的な理由により、自宅での生活が困難な方が入所できる施設となります。入所の必要性については、入所判定委員会で判断します。

また、認知症や知的障害、精神障害などの理由で判断能力が十分でない方は、成年後見制度があります。これは、成年後見人が本人に代わって、介護や福祉サービスの利用契約や施設入所・入院の契約、適切な財産管理を行うことで、その方の生活を支援する制度でございます。保健福祉課地域包括支援センター内の成年後見支援センターで、社会福祉士が相談に応じます。また、早い時期での相談により、障害福祉サービス事業所や専門員と連携し、利用者個々の状態に応じたサービス提供につながるものと考えておりますので、すぐにでもお越しいただけたらと思います。

いずれにいたしましても、まずは保健福祉課にご相談いただければ、関係機関と連携し、対応いたします。

議 長

中村議員。

中 村 議 員

親が亡くなってもすぐにこの養護老人ホームに入れる訳ではないということはわかりました。

で、その代わりに成年後見制度というのがあるので、支援してくれるので、それを利用しながら見つけていくという形に

なるんでしょうかね。

はい、ありがとうございました。

次に、下水道管の点検についてお尋ねします。

1月28日、埼玉県八潮市で道路陥没事故がありました。

下水道管の破損が原因とみられています。地域の住民や近くの自治体など風呂にも入れないという自粛生活を余儀なくされていたようです。

大変な生活になっていると春日部市に住む知り合いが言っていました。

日頃、電気や水道が便利に使われていますが、事故や災害があるとありがたさを身に染みて感じているところです。

私は、以前にも下水道管の老朽化や点検についてお尋ねしたことがあります。国から、50年以上経過した下水道管は5年に一度の点検が求められています。

埼玉県の事故以来、緊急点検をしているところもあります。

山口市、山陽小野田市は、老朽化したところを緊急点検して異常なしということを発表しています。

和木町はどんどん更新しているとのお答えをいただいております。

和木町もこの度の事故により緊急点検を行うのでしょうか。

議長 山下都市建設課長。

山下都市建設課長 はい、和木町についてですけれども、下水道管の点検についてでございますけれども、緊急点検ということではございませんが、この度の埼玉県の事故に起因するものでもないのですが、今年度当初予算に計上いたしまして、町内において約2,000mの下水道管のカメラ調査を実施しております。

これまでも、以上で、2,000mの調査を実施しているところでございます。

議長 中村議員。

中 村 議 員 すいません。質問をちょっと落としていましたが、カメラ調査をするということわかりました。

和木町の下水道点検は目視ですか、カメラを差し入れたり奥までドローンを使ったりするものでしょうかという問いだったんですが、ドローンとかは使わないでカメラを入れるということではよかったですかね。

議 長 山下課長。

山 下 都 市 はい、先程申した今回実施した調査におきましては、カメラ
建 設 課 長 調査を実施しております。これまでにカメラ調査や目視調査も
しておりますけれども、ドローンを活用した調査というのは、
和木町の方ではまだ実施しておりません。

議 長 中村議員。

中 村 議 員 はい、ありがとうございます。

なかなか狭いところですのでね、埼玉県のような大きなところだったらドローンとかの活用もあるのかもしれませんが、カメラを入れるということで承知しました。ありがとうございます。

次の質問です。

1月の始め中国新聞に、和木町長選に米本正明氏が出馬する
のかは3月に発表する旨が掲載されていきました。

3期、12年間和木町長として行政を担ってこられました。

4期目はどうされるのか伺います。

議 長 米本町長。

米 本 町 長 中村充子議員の次期和木町長選挙はどうされるのかとのお
質問にお答えをいたします。

私、中国新聞さんから取材を受けた訳ではありませんので

3月に表明するというのは記者の方の考えだと思います。

私は、平成25年に初当選をした時に、過去3代の町長さん方は3期、2期、3期であったことから私も3期か2期かそのあたりだろうというふうに考えをしておりました。現在、私も3期12年を何とか終える事が出来そうなのは、町民の皆さんのご理解とご協力、そして浅学菲才な町長を支えてくれた職員の皆さんのおかげであると感謝をしておるところでございます。

この3期の間、一貫して行ってきた事は、大切な和木町を未来に繋ぐことを主眼に、無理をせず身の丈にあった政策を行ってきたつもりでございます。ですから大きな目玉施策などはあまり行わず、英検・数検・漢検の受験費用の全額補助、家庭用防犯カメラの補助やがんと闘う方へのウィッグの補助など、なるべくソフト面で比較的少額でできることに専念をしておりました。

そして心に思ったことがもう1つございます。それは、前町長が残してくれた財政調整基金約13億円を近い金額で次の方へ引継ぎたいということでございます。

来年度予算では、予算ベースで基金残高が10億4,800万円となる予定でございますが、決算ベースでは、別に積み立てた公共施設の修理等に使う基金をあわせて近い数字となる予定でございます。

また旧幼稚園、旧保育所跡地を新たな資産とすることができました。

しかしこれを躍起になって、まあ死守をし、町民の皆様の福祉の後退になったのでは意味がございません。そんな思いの中で2023年に大手賃貸住宅メーカーの調査で、町の幸福度ランキング、町の幸福度ランキング2023では中国地方で1位、全国で6位の成績をいただいたことは、これまでの歴代町長さん方が積み上げてこられた政策をなんとか守る事ができたのではないかというふうに思っているところでございます。

町民の皆さんや議員の方々からもそうですが、女性課長第1

号になっていただきました中村議員さんから及第点はいただけますでしょうか。

これらのことから私は3期が潮時かと思っており、朝方、犬を散歩させる田舎の好々爺を思い描いておりました。しかしながら、本当に意外ではありましたが、多くの方から「続けなさい。」とのお声をいただき、まあ面と向かって「辞めなさい。」と言われる方はいらっしゃらないでしょうが、また「辞めちゃあいけん。」とお叱りを受けたこともあり、ぎりぎりまで迷っておりましたが、皆さんからの期待をいただけるのならば、それに応えていかなければならないと思い、次の期も大切な和木町を背負わさせていただこうかとの思いに至ったところでございます。

今後、立候補に向けていろいろと調整してまいりたいと思っております。

これからも人件費や諸物価が高騰していき、益々財政的にも厳しくなる事が推測される中、多額な建設費が掛かる給食センターをどのようにしていくかを決断していく事となります。しっかりと取り組み、和木町を守り未来へ繋いでいきたいと思っておりますので、皆様方の更なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

議 長

中村議員。

中 村 議 員

はい、丁寧にお答えいただきまして、ありがとうございました。

私から見て町長は3期良く頑張ってこられたと評価いたします。

私は、和木町長はパラシュートで他所から来た人ではなく和木町生まれで和木町が大好きな方が町長であって欲しいと願っております。今後とも、よろしくお願いいたします。

厳しい財政の中で給食センター建設、旧保育所・旧幼稚園の跡地の始末、老朽化した和木町の庁舎など仕事は山積しています。本当に健康に気をつけられて、引き続きお願いしたいと

思っております。

では、今後の和木町をどのように考えておられるのか。近隣市町との合併を良い条件のうちに考えた方が良くはないかという町民の声もあります。

どのように導いていくのかお尋ねいたします。

議 長 米本町長。

米 本 町 長 今後の和木町をどのように考え、合併を含めどのように導いていくのかとのご質問でございますが、私は、次期選挙でまだ当選をしている訳ではございません。ですから、導いていくのかとのご質問にお答えするのはおこがましいと思いますので、現町長の立場として所感を述べさせていただきたいと思えます。

私は先程も述べましたが、「小さくともきらりと光る和木町を未来に繋ぐ」をモットーにこれまで頑張ってきたつもりでございます。私も含め歴代町長さん方も総理大臣勸告を受けた昭和の大合併も、また平成の合併も乗り越え、バブル崩壊、リーマンショック後においても、必死にこの和木町を守って参りました。

私が町長に就任後、すぐに下水道圧送管の破裂や8.6岩国和木豪雨災害があっても、各方面からのご支援により何とか乗り切っていく事ができました。

ですから、成り立つのかではなくて、知恵を絞り、協力しあい、成り立たせていかなければならないのではないかというふうに思っております。

今、日本は毎年60万人から70万人の人口減少が続いております。村上総務大臣は、将来は県も不要で1,700の市町村は約400の自治体で足りると言われました。

そんな時が来たならば、もちろん考えて行かなければならないでしょうが、それは多分私が生きている間には、あり得ない事ではないかと考えております。

なるほど、今後財政状況はだんだんと厳しくなる事が予想さ

れ、多少は町民の皆さまに我慢をお願いする事があるかもしれませんが、もし合併を行えば、もちろん新しいメリットもできてまいります、敬老金は無くなり、12ヶ所以上ある集会所も統廃合の上、自治会の自身で管理運営をされることとなります。

しかし和木町が存続している限り、財政改革を行う中で、皆さんの生活が激変しないよう施策をとることは可能だと思います。

他の町村では、人口も少なく厳しいところはたくさんございます。ですから今私が思うのは、余程のことがない限り、まだまだ和木町を持続する事は可能だと思っております。

私は、山口県玖珂郡和木村大字和木字前組の生まれであり、お寺の前の旧木村医院で産まれたと聞いております。ですからこの和木町が無くなることを潔しとはしません。中村議員さんはどのようにお考えでしょうか。

町民の皆さんが将来に大変ご不安な事は理解をいたしますが、将来その時の町長さん、議会の皆さん、自治会長さん、そして町民の皆さんが知恵を出し合ってこの和木町を守り、つなげていただきたいと考えております。

議 長 中村議員。

中 村 議 員 はい、ありがとうございます。町長から、和木町は持続可能だと思っている、という力強いお言葉をいただきました。

ついでに質問もいただいた訳ですけど、私は合併をどういうふうに考えるかということについてちょっとお答えします。

もしも岩国市と合併するのであれば、和木こども園、和木小学校、中学校とまだ新しく、小瀬や装束からの受け入れが可能ですので合併するにしてもそう悪くならないのではないかなというふうに考えております。いいところもあるのではないかと、というふうに思っているところです。

しかしながら町民へのサービスは低下を免れないのではないかと懸念しておりますし、職員、一緒に働いてきた役場の

令和7年第1回(3月)定例会

職員の皆さんがどうなるのだろうかという心配もございます。大きな心配事が合併についてはあるのですが、町長が生きている限りは、多分存続していただろうと私も信じますので、私の質問はこれで終わりたいと思います。

どうもありがとうございました。

議長 再質問がないようですので、以上で中村充子議員の一般質問を終わります。

議長 ここで暫時休憩をいたします。
10時から再開いたします。

休 憩 9 時 5 0 分

再 開 1 0 時 1 5 分